

# 第11期ジュニア・アカデメイア

『もやもや』から提言へ  
～今、何を問うか～



第10期発表動画  
公開中!



HPはこちら



お問い合わせ先

03-5511-2030

junior-akademeia@jpc-net.jp

ジュニア・アカデメイア 🔍

担当：竹内・中村・大浦





# ジュニア・アカデメシアとは

ひらめけ・とんがれ・突き抜けろー

日本の将来を担うリーダーの育成を目指して

ジュニア・アカデメシアは、次世代の人材を育てるという「日本アカデメシア」の設立当初からのミッションに基づき、2015年に志のある大学生・大学院生を対象として創設され、約400名の修了生が各界で活躍しています。

一方通行の講義ではなく、次の時代を担う学生が主体となって、日本が直面する解決困難な課題について学び、考えることを主眼としています。

活動を通じ、意見の相違を乗り越えながら、解決策に向けてねばり強く合意形成に取り組める日本の将来を担うリーダーの育成を目指します。

## ～ジュニア・アカデメシア趣意書～

日本アカデメシアは、日本の将来を担わねばならない公共人材を、各界が短期的な利害得失を超え、長期的な視野に立って支えていくための取り組みを行っています。

今まさに社会へ飛び出そうとする若者は、様々な意見や主張が存在する中で合意形成を導くことができるリーダーになる必要があります。そのためには、物事の本質を見極める精神的なタフさを身に着けることが必要です。

ここにジュニア・アカデメシアを設立し、志ある若者が、意見の相違を乗り越えながら共通の方向性を見出し、行動することを学ぶ場を提供します。学生は自治憲章に則って、自主・自立の精神をもって活動します。また、修了生が活動修了後もネットワークを形成することで、将来の日本の礎を築きます。

## ～ジュニア・アカデメシア自治憲章～

私たちは、ジュニア・アカデメシアの趣意書に賛同し、日本の礎を担うという自覚をもって、学んでいきます。

- 一、私たちは、自らの意志でこの活動に参画します。最後まで自主・自律の精神をもって活動し、責任を果たします
- 一、私たちは、既存の考え方に頼らずに、日本社会の問題を根本から考えます。私たちの素直な思いを見つめ、私たちの視点で問題の解決策を考えます
- 一、私たちは、それぞれが異なる意見や主張を持っていても、一致点を導き出すため、ねばり強く合意形成に取り組めます
- 一、私たちは、年齢・性別や、大学・学年の垣根を越えて学び合います。必要な時は助け合い、支え合います
- 一、私たちは、この学びを次の世代へ引き継ぎます。同時に私達も学び続けます

## ジュニア・アカデメシア校長

曾根 泰教

日本アカデメシア運営幹事  
慶應義塾大学名誉教授





# 第11期ジュニア・アカデミア 活動内容・募集要項

## 1. テーマ

『もやもや』から提言へ～今、何を問うか～

## 2. 活動期間・スケジュール(予定)

2026年8月～2027年3月 (予定)

8月	9月	10月	11月
20～22日:キックオフ合宿 (第1回会合:ゲストとの対話①②/対面)	2日:第2回会合事前検討会 12日:第2回会合(ゲストとの対話③/対面) 30日:第3回会合事前検討会	10日:第3回会合 (ゲストとの対話④/対面)	4日:第4回会合事前検討会 14日:第4回会合 (ゲストとの対話⑤/対面)
12月	1月	2月	3月
12～13日:第5回会合 (ゲストとの対話⑥、 集中提言検討合宿/対面)	個人面談(提言発表準備)	20日:ジュニア・アカデミア 関係者への提言発表会/対面	3日:各界リーダーへの提言発表会 /対面

- ※対面イベントは原則都内で開催、オンライン配信はありません。
- ※事前検討会、個人面談はオンラインで開催します。
- ※運営都合による日程の変更、イベントのご案内等を行う場合がございます。

## 3. 活動内容(予定)

- ①キックオフ合宿(8月): 校長講話、ゲストとの対話、参加者同士の交流を行う
- ②対話・発信に向けた活動(9月～2月)  
政治、経済、社会等、日本が直面する諸課題を題材に、日本アカデミアをはじめとした各界のリーダーとの対話を行い、自身の「もやもや」から「問い」を立て、「提言」を作成する。
- ③成果発表(3月)  
日本アカデミア関係者(経済界・労働界・官僚のトップ層、政治家、学識者など)に向けて提言を発表し、世代を超えた交流を行う
- ④ジュニア・アカデミア修了生との交流(随時)  
※活動の様子は日本アカデミアのホームページで発信予定です。

## 4. 募集対象

全国の大学生および大学院生(学年・専攻不問) 30名前後

## 5. 参加要件

ジュニア・アカデミア趣意書、自治憲章の趣旨に賛同し、最後まで本活動へ積極的に参画すること。

## 6. 参加費用

無料 ※対面のイベントは、大学所在地に応じた交通費の定額補助を行います(右表)。

地域	交通費補助
東北・中部・近畿	25,000円
中国・四国	40,000円
北海道・九州	45,000円

# ジュニア・アカデメィアを経た 学びの拡がり

## ジュニア・アカデメィア参加のメリット

### 各界で活躍する リーダーとの対話

政治、行政、企業や労働組合等、各界で活躍するリーダーの皆さんと直接対話することができます。

### 全国の大学生との 本音の議論

全国の大学から集まった仲間たちと、大学、地域の垣根を超えて、“真面目な話”を“真面目に”議論することができます。

### 自分の本音や意見を 社会に発信

日本が直面する諸課題を追求し、自身の本音や意見を社会に発信することができます。

### 修了後も続く ネットワーク

修了後も、各界で活躍するジュニア・アカデメィア修了生とのネットワークを持つことができます。

## 修了生の声



大学院1年

活動に参加し、自分の社会に対する見方が大きく広がりました。ゲストの方々との対話や参加者同士の議論を通して、自分自身が普段当たり前だと思っていることを改めて問い直す機会になったと感じています。

それぞれが関心のあるテーマを深め、最終的に提言としてまとめていく過程が印象的でした。特に、各界の方々から若者にどのような役割や期待を寄せているのかを直接感じ取ることができた点が印象に残っています。多様なバックグラウンドを持つ参加者の考え方にも触れ、自分の視野が広がる有意義なプログラムでした。



大学4年生

普段は他大学・他学部の方々とは交流する機会があまりない中、この活動で多くの人と熱い議論を交わし、毎回話題が尽きず、参加するたびに新しい刺激を受けました。活動自体は大学の授業とも両立しやすく無理なく続けることができました。ジュニアカに参加したことで、大学の授業に対しても「どこに社会課題があるのか」、日常生活の中でも「今の日本はどうなっているのか」をこれまで以上に深く考えるようになりました。意見を持つことの大切さや、他者と対話することの大切さを学ぶことができましたと感じています。



大学3年生

# 昨年度のジュニア・アカデメニア 活動の様子

## ゲストとの対話



## 提言発表会・交流会



# ジュニア・アカデミア よくある質問



Q.忙しい時期・予定が合わない回がありますが、参加できますか？

A.事前にスケジュールを公開しているイベントには原則参加をお願いします。課題などについてはご相談ください。



Q.個人で提言を発表するのですか？  
他参加者との交流はありますか？

A.発表は個人単位ですが、プログラム内で他参加者との交流の機会を設けています。



Q.1年生でも参加できますか？

A.学年や専攻に関係なく参加できます。



Q.費用はどのくらいかかりますか？

A.交通費・通信費の負担が発生します。対面でのイベントは都内開催のため、首都圏外の方には交通費補助があります。



その他ご不明な点があれば、お問合せください！



# 日本アカデメイアとは



いま日本に必要なのは「公智」の結集です

## ～日本アカデメイアの目的～

1. 日本アカデメイアは、日本の将来を担わねばならない公共人材を各界が支え、リーダーシップを涵養するための取り組みを行います。
2. 日本アカデメイアは、政治家、官僚と国民各界をつなぎ直し、日本社会の各分野の知恵や経験を引き出し、人材を結集する「ハブ」として活動します。
3. 日本アカデメイアは、日本の政府や政治の人的、知的、組織・制度的基盤を根本から考え直し、インフラの再整備にむけて発言します。
4. 日本アカデメイアは、グローバル時代における日本の政府や政治の対外的な発信力を高めるために活動します。

## ～日本アカデメイアの主な活動内容～

1. 日本のトップリーダーや日本を担うことが期待されている政治リーダーと交流し、日本の重要課題やリーダーのあり方について意見交換を行います。
2. 時代認識や日本の将来に関わる重要課題（「仕組み・人材」「政策」「経験・歴史」）について与野党や各界参加による「円卓会議」（日本ラウンドテーブル）を設け、認識の共有化に努めます。
3. 公共の担い手である官僚との交流・意見交換の場を設け、日本の政策課題や将来構想についてともに学び、認識の共有化に努めます。
4. 内外のリーダーを招き、「日本アカデメイア・フォーラム」を開催、その年の課題について集中的な意見交流を行い、内外に発信します。
5. 公共領域のイノベーションにむけて、世論調査や合意形成手法のあり方、日本政治のグローバル化にむけた大使館や外国特派員との交流、大学と連携した学生との交流活動を行います。



政治リーダーとの対話と合意形成



産官学による日本と世界の長期ビジョンの検討とネットワークの立て直し



次世代の人材育成

〔共同塾頭・会員委員長・運営幹事〕 ※2026年6月1日時点

常任塾頭	茂木友三郎	キックマン取締役名誉会長	取締役会議長
常任塾頭	佐々木 毅	元東京大学総長	
常任塾頭	小林 喜光	東京電力ホールディングス取締役会長	
共同塾頭	伊藤 公平	慶應義塾長	
共同塾頭	田中 愛治	早稲田大学総長	
共同塾頭	藤井 輝夫	東京大学総長	
共同塾頭	芳野 友子	連合会長	
会員委員長	福川 伸次	地球産業文化研究所顧問	
運営幹事	曾根 泰教	慶應義塾大学名誉教授	
運営幹事	増田 寛也	野村総合研究所顧問	
運営幹事	前田 和敬	日本生産性本部理事長	

詳しくはHPにて

日本アカデメイア 🔍

<https://j-akademeia.jp/>



ジュニア・アカデミア事務局  
(公益財団法人日本生産性本部内)  
〒100-6105 東京都千代田区永田町2-11-1 山王パークタワー5階  
TEL : 03-5511-2030

HP : <https://j-akademeia.jp/activities/junior/>  
E-mail : [junior-akademeia@jpc-net.jp](mailto:junior-akademeia@jpc-net.jp)



公益財団法人 日本生産性本部

<https://www.jpc-net.jp/>

